

墨田区立隅田公園の一部における指定管理者の指定について

1 施設の名称及び範囲

墨田区立隅田公園のうち、別紙の図で定める範囲

2 指定の期間

令和7年4月1日から令和12年3月31日まで（5年間）

3 指定管理者とする団体

(1) 名称

すみだパークマネジメントグループ

(2) 所在地

東京都墨田区押上二丁目18番12号

(3) 代表者氏名

東武鉄道株式会社 代表取締役 都筑 豊

(4) 共同事業体の構成団体

ア 名称

東武鉄道株式会社

所在地

東京都墨田区押上一丁目1番2号

代表者

代表取締役 都筑 豊

イ 名称

東武緑地株式会社

所在地

東京都杉並区天沼三丁目5番4号

代表者

代表取締役 青木 雅彦

ウ 名称

東武ビルマネジメント株式会社

所在地

東京都墨田区押上一丁目1番2号

代表者

代表取締役 武政 美佐雄

エ 名称

プロジェクトブレイン株式会社

所在地

東京都府中市府中町一丁目9番地

代表者

代表取締役 坂口 裕志

(5) 沿革

ア

東武鉄道株式会社

明治30年11月 設立

イ

東武緑地株式会社

昭和47年3月 設立

ウ

東武ビルマネジメント株式会社

昭和44年5月 設立

エ

プロジェクトブレイン株式会社

平成9年4月 設立

(6) 同種事業の実績（自治体での受託運営）

ア

本区での実績

なし

イ

他自治体での実績

足立区元洲江公園・生物園、足立区都市農業公園、春日部市都市公園（大沼公園ほか6公園）及び北海道夕張郡由仁町ゆにガーデンの指定管理者

4 選定経過及び選定理由

(1) 募集内容

ア 募集期間

令和5年2月1日から令和5年4月28日まで

イ 周知方法

区のお知らせ及び区のホームページへの掲載

ウ 申請者数

3者

(2) 選定経過

墨田区指定管理者選定委員会において、主管部検討部会での審査を経た3者について、申請書類等に基づき、評価項目である①効用の最大限の発揮及び効率的な運営、②事業計画の遂行能力の2項目に関する審査を行った。

(3) 選定理由

審査の結果、選定団体は、評価項目の評価の合計点が設定した水準を超え、申請者の中で最高得点であったことから、墨田区立隅田公園の設置目的を効果的・効率的に実現することが期待できるため選定した。

5 事業計画の要点

(1) 管理運営の方針

墨田区立隅田公園を、「すみだの日常に触れ、まちを知るきっかけとなるまちあるき拠点」とすることを管理運営の理念とし、次の2つの運営方針を定めている。

ア 地域住民が日常的に利活用できる公園を提供し、地域住民が地域に対して愛着と誇りを持ち、楽しく豊かに暮らすライフスタイルの確立を目指す。

イ 地域住民のライフスタイル自体を地域の新たな観光資源とし、地域住民にも来街者にも愛されるまちづくりの要所となることを目指す。

(2) 主な提案内容

ア 効用の最大限の発揮及び効率的な運営に関する提案

(ア) 近隣自社施設や地域団体と連携した様々なイベントの実施、コーディネートにより、公園の賑わいの創出を図るとともに、北十間川エリアや墨田区の文化的・歴史的魅力を効果的に発信する。

(イ) 占用行為における事前相談受付の実施、利用者間のコーディネート、予約システムの構築等により、活用しやすく公正な占用業務を行う。

(ウ) 便益施設に隣接して休養施設を整備し、日本庭園を望みながら休憩する等、利用者が思い思いの時間を自由に過ごせる空間を提供し、公園の楽しみ方の幅を広げる。

(エ) コミュニティスペース「公園の作戦会議室」を活用し、公園の活用等を議論する場、地域コミュニティ醸成の場、地域情報発信の場を提供する。

(オ) 東武鉄道の駅構内や電車内等広告枠の活用、自社施設との連携により、公園の認知度向上を図る。

(カ) 隅田公園自動車駐車場について、専用HPでの予約受付、キャッシュレス決済への対応等、利用者の利便性向上に取り組む。

(キ) 電子日報システム・自動芝刈り機・AIビーコンの活用といったDX化の取組や、駐車場の遠隔管理システム導入により経費削減を図る。

(ク) 近隣自社施設と連携した夜間巡回警備や24時間対応可能な管理体制の整備により、効率的な維持管理を行う。

(ケ) 指定管理料（提案額）：75,380,000円

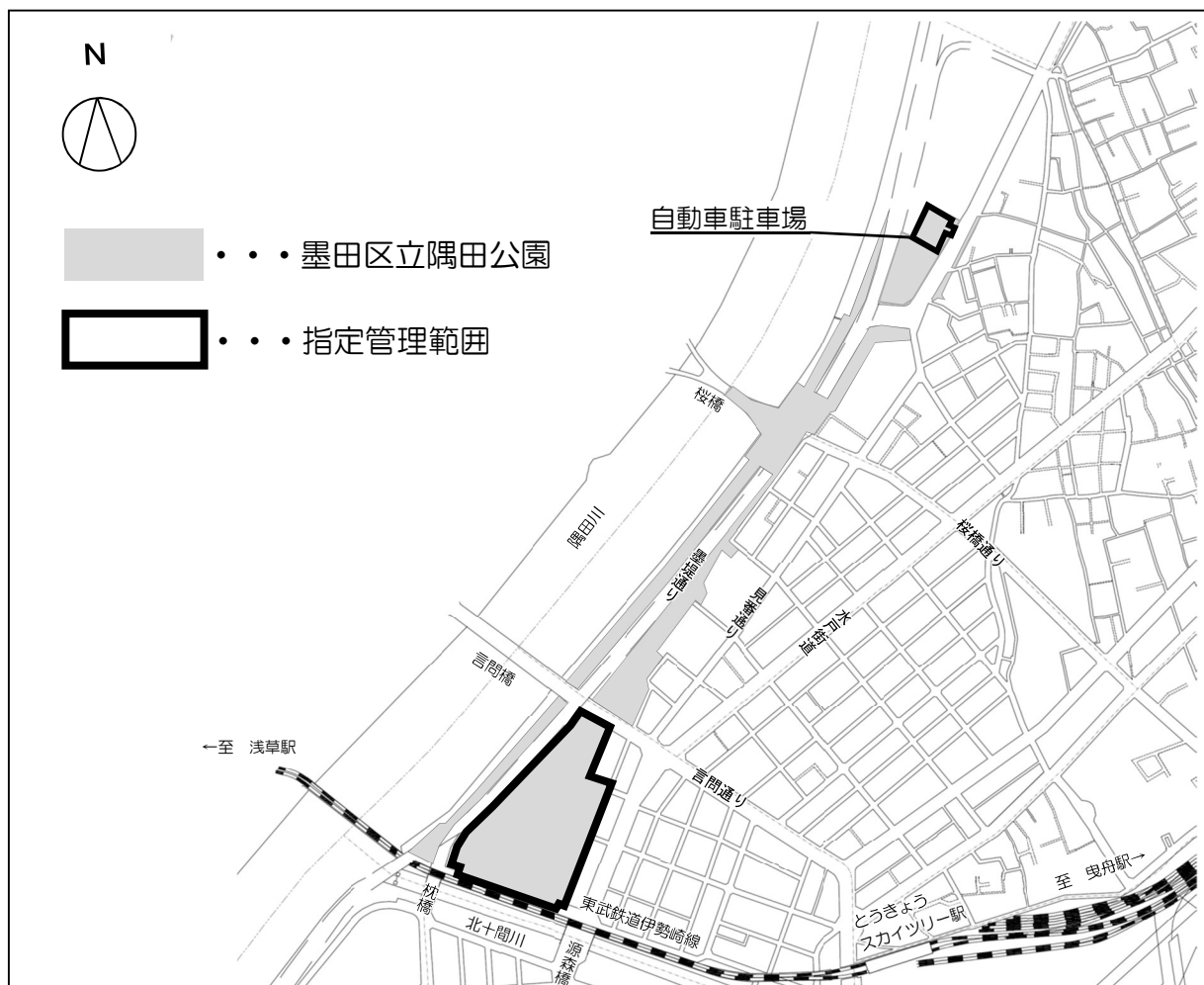
イ 事業計画の遂行能力に関する提案

(ア) 周辺エリアのコンシェルジュ機能を担うことを目的に、周辺施設の最新情報、公園の歴史・文化知識の習得に努める。

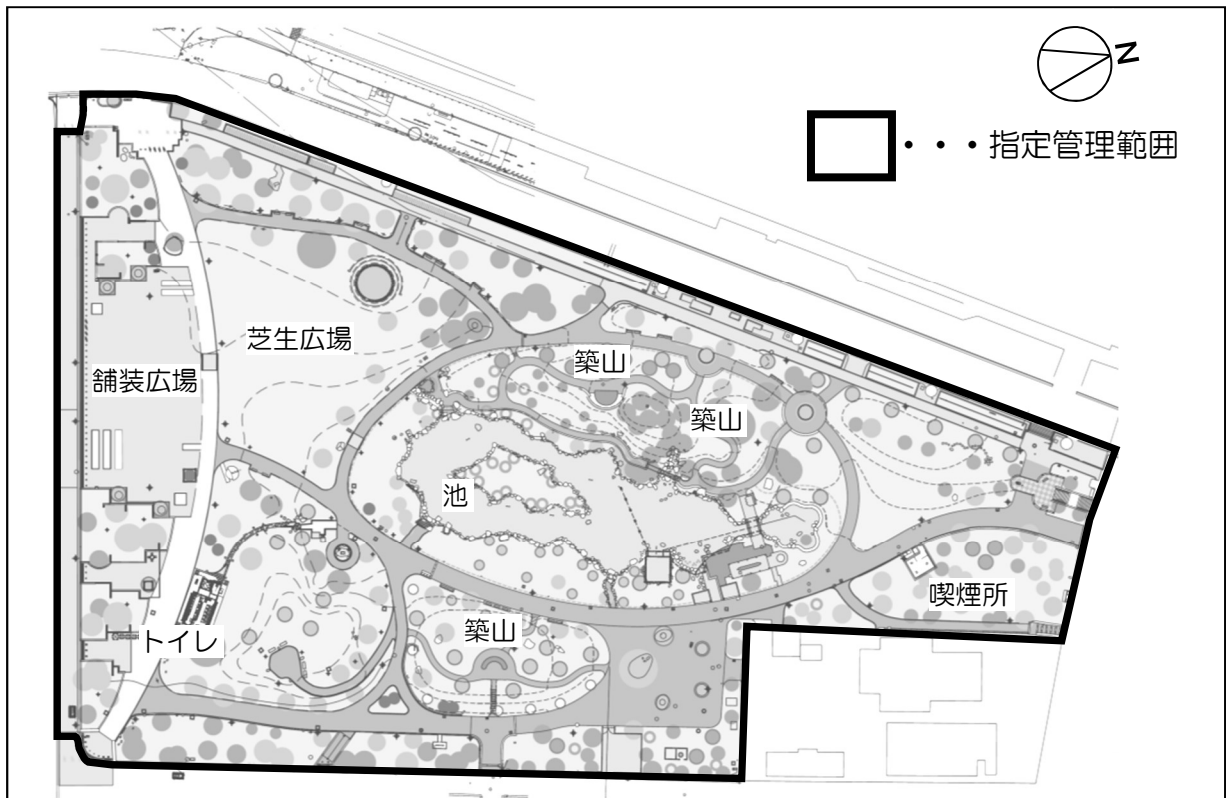
(イ) 管理事務所に常駐する統括責任者には、公園管理運営士等の資格保有者を配置し、本部には樹木医等の専門職員を配置する。

(ウ) 災害その他緊急時の危機管理及び苦情処理について各種マニュアル及び体制を整備するほか、災害時における避難場所であることから地域住民の避難に対応する。

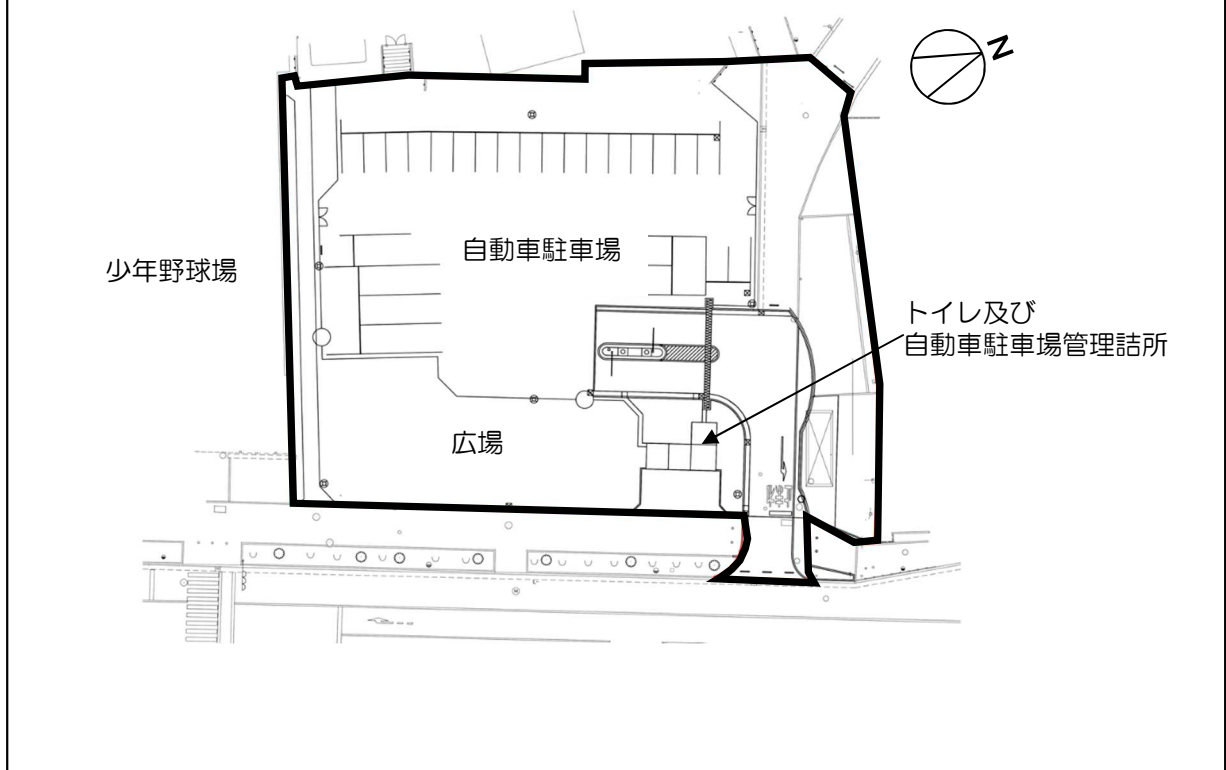
(別紙)



全体図



※ 図は隅田公園再整備工事完了後のもの



指定管理範囲詳細図

審査結果

12名の委員が評価し、その合計点により審査を行った。

評価項目（配点）	得点		
	すみだパーク マネジメント グループ	B	C
1 効用の最大限の発揮及び効率的な運営（68点×12人=816点）	654点	582点	522点
(1) 利用者にとって平等に利用できる環境が整えられているか （6点×12人=72点）	61点	48点	44点
(2) 本公園の設置目的を達成するための事業計画となっているか （10点×12人=120点）	95点	86点	70点
(3) 公園の効用を最大限に発揮する独自の提案があり、実現が可能か （8点×12人=96点）	71点	71点	59点
(4) 利用者の要望・意見等を聴くための手段と業務改善の取組があるか （4点×12人=48点）	43点	37点	36点
(5) 本公園の設置目的を踏まえた管理・運営方針となっているか （6点×12人=72点）	64点	50点	45点
(6) 本公園の維持管理経費を節減するための積極的な取組があるか （6点×12人=72点）	55点	51点	45点
(7) 提案額は、事業計画を実現するための適正な額となっているか （6点×12人=72点）	46点	57点	55点
(8) 区民の雇用や区内企業の活用を図る取組があるか （6点×12人=72点）	57点	54点	52点
(9) 利用者の増加策は効果的か （6点×12人=72点）	61点	55点	45点
(10) 便益施設の設置管理との一体的な実施により、効用の発揮や利便性向上に相乗効果が期待できるか （10点×12人=120点）	101点	73点	71点
2 事業計画の遂行能力（32点×12人=384点）	278点	276点	253点
(1) 経営状況及び財政基盤は安定しているか （6点×12人=72点）	57点	57点	24点
(2) 職員構成・職員数及び組織の管理・運営体制は適切か （6点×12人=72点）	44点	54点	48点
(3) 管理責任者及び職員の資格や経験は適切であり、職員のスキルアップに向けた取組は十分か （6点×12人=72点）	56点	44点	52点
(4) 個人情報保護の徹底及び積極的な情報公開を行う計画となっているか （4点×12人=48点）	33点	41点	36点
(5) 災害その他緊急時の危機管理体制及び苦情処理体制は明確か （6点×12人=72点）	53点	43点	49点
(6) 都市公園又は都市公園に類似する施設に関する他の自治体での管理運営実績 （4点×12人=48点）	35点	37点	44点
合計（100点×12人=1,200点）	932点	858点	775点

墨田区立隅田公園の指定管理者 申請者提案概要

項目	すみだパークマネジメントグループ	B	C
1 効用の最大限の発揮及び効率的な運営			
(1) 利用者にとって平等に利用できる環境が整えられているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 占有行為における事前相談受付の実施、利用者間のコーディネート、予約システムの構築等により、活用しやすく公正な占有業務を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インフォメーションセンターを設置し、公園の利用案内や利用者からの相談窓口とする。 ・ ユニバーサルデザインの7原則と心のユニバーサルデザインを意識した管理運営を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用調整会議の開催等、指定管理者による提案事業、自主事業及び占有利用が、一般の自由利用を妨げないよう取り組む。 ・ ユニバーサルサービス7原則を定め、管理運営を行う。
(2) 本公園の設置目的を達成するための事業計画となっているか	<p>【運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 便益施設との一体的な運営により、地域住民が主役となれる枠組みを構築する。 ・ 近隣自社施設や地域団体と連携した様々なイベントの実施、コーディネートにより、公園の賑わいの創出を図るとともに、北十間川エリアや墨田区の文化的・歴史的魅力を効果的に発信する。 <p>【維持管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ そよ風ひろばを重点に、より長い期間、より多くの利用者が利用できるよう芝生を管理する。 ・ 近隣自社施設と連携した夜間巡回警備や24時間対応可能な管理体制の整備により、効率的な維持管理を行う。 <p>【隅田公園自動車駐車場の利用承認に関する業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の定期巡回と遠隔監視により管理する。 ・ 駐車場専用HPでの予約受付、キャッシュレス決済への対応等、利用者の利便性向上に取り組む。 	<p>【運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 墨田区の歴史や文化に関連したワークショップ等の開催等、墨田区のファンやリピーターを増やす取組により、公園の認知度を高め、公園の賑わいの創出を図る。 ・ 公園を区民・地域活動の拠点として活用し、区民のシビックプライドを高める。 <p>【維持管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園の徹底美化（清掃計画に基づく質の高い清掃、草刈りの頻度増等）と接客サービスの向上により質の高いサービスを提供し、利用者満足度の向上に努める。 ・ 日本庭園のある景観を尊重し、将来の世代に継承していけるようなみどりの維持管理に努める。 <p>【隅田公園自動車駐車場の利用承認に関する業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員が常駐して管理する。 ・ 自動精算機により利用料金を徴収する。 	<p>【運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市公園管理運営の実績やノウハウを活用して、公園の魅力向上、利用促進を図る。 ・ 交流の場・地域活動の場として区民・地域・事業者等と連携（地域コミュニティの醸成、地域で公園を育てる取組、新たな公園ボランティアの育成、公園運営協議会の設置等）し、公園の価値を向上する。 <p>【維持管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃を管理業務の基本と捉え、利用者がいつでも安全かつ快適に利用できる状態を確保する。 ・ 造園家、樹木医等の専門家が参画し、花とみどりの美しい空間を演出する。 <p>【隅田公園自動車駐車場の利用承認に関する業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員が常駐して管理する。 ・ 自動精算機により利用料金を徴収する。
(3) 公園の効用を最大限に発揮する独自の提案があり、実現が可能か	<ul style="list-style-type: none"> ・ 便益施設に隣接して休養施設を整備し、日本庭園を望みながら休憩する等、利用者が思い思いの時間を自由に過ごせる空間を提供し、公園の楽しみ方の幅を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間を通して利用促進イベント（日本文化体験、季節の行事、スポーツ体験等）を実施する。 ・ 放課後カフェスペース等の居心地の良い空間、フォトスポットの創出により、利用促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な事業（茶会、ヨガ、ガーデニング教室、ニュースポーツ体験等）の実施により、公園の魅力向上を図る。
(4) 利用者の要望・意見等を聴くための手段と業務改善の取組があるか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簡易アンケートや意見箱の常設、Webアンケートの実施により、日常的に要望・意見を把握する。 ・ 近隣自社施設と連携し、当該施設利用者を対象とした公園に関するアンケートを実施し、多角的に情報収集し、公園だけでなくエリアという観点で分析・評価を行う。 ・ 接客マニュアル、苦情要望処理体制を整備し対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インフォメーションセンターの設置、利用者から見えやすい位置での業務、意見箱の設置、アンケートの実施により、要望・意見を把握する。 ・ HPやSNS上でのリアクション数等を解析し、利用者満足度を把握する。 ・ 要望・意見をデータベースに蓄積・分析し、職員間で共有し、必要に応じてマニュアルへ反映する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ HPの活用やアンケートの実施、利用者とのコミュニケーションにより、要望・意見を把握する。 ・ 地域との意見交換の場として、町会や商店会等を構成団体とした「運営協議会」を開催する。 ・ 要望・意見をデータベースに蓄積・分析し、職員間で共有し、トラブル対応マニュアルや次年度の事業計画へ反映する。
(5) 本公園の設置目的を踏まえた管理・運営方針となっているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民が日常的に活用できる公園を提供し、地域住民が地域に対して愛着と誇りを持ち、楽しく豊かに暮らすライフスタイルの確立を目指す。 ・ 地域住民のライフスタイル自体を地域の新たな観光資源とし、地域住民にも来街者にも愛されるまちづくりの要所となることを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隅田公園を、住む人や働く人、訪れた観光客が集い、つながり、そして文化を育む場所と考える。 ・ 心地よい「第三の場所＝サードプレイス」を目指す。 ・ 産学官民の連携を重視する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法令を遵守し、公平、公正な公園管理を行う。 ・ 公園管理運営の実績を活かし、墨田区の公園緑地政策、地域経済の振興に貢献する。 ・ 地域と連携する管理運営を行う。

項目	すみだパークマネジメントグループ	B	C
(6) 本公園の維持管理経費を節減するための積極的な取組があるか	<ul style="list-style-type: none"> DX化（電子日報システム、自動芝刈り機、AI ビーコンの活用）を推進する。 駐車場に遠隔管理システムを導入する。 日常清掃、除草等の軽微な業務を直営で行う。 近隣自社施設との一体的な管理を行う。 適正な物品購入、水道光熱費削減に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 芝刈や剪定、日常清掃、簡易的な安全点検等を直営で行う。 物品購入等の経費を削減するため、自社施設と備品を共同購入する。 設備の予防修繕、予知修繕に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な人員配置、職員の能力向上、様々な働き方に対応した柔軟な労務システムを構築する。 DX化（クラウドでの情報共有、勤怠管理等）、省エネルギー・省資源化を推進する。 設備の予防修繕、予知修繕に取り組む。
(7) 提案額は、事業計画を実現するための適正な額となっているか	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料（提案額）：75,380,000 円 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料（提案額）：68,574,000 円 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料（提案額）：68,310,000 円
(8) 区民の雇用や区内企業の活用を図る取組があるか	<ul style="list-style-type: none"> 委託先、現場スタッフは区内企業・区民を優先して採用する。 当共同事業体の3/4は区内事業者で構成し、指定事業の費用の約92%が区内企業へ支払われると想定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 最大17名を地元雇用枠として雇用する。 専門的な植栽管理は、基本的に区内の企業に委託する。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員は、区民を雇用することを原則とする。 物品購入、維持管理業務、保守点検等は、区内企業を活用することを基本とする。
(9) 利用者の増加策は効果的か	<ul style="list-style-type: none"> HP、SNS、園内掲示板、パンフレット等多様な広報手段を使い分け、公園だけでなく周辺エリアも含めた情報発信をする。 東武鉄道の駅構内や電車内等広告枠の活用、自社施設との連携により、公園の認知度向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> HP、SNS、パンフレット、各種メディアへのリリース、地域メディアとの連携により、隅田公園のファンになってもらうための情報発信を行う。 年間を通じた利用促進イベントを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 多言語対応のHP作成、SNSによる情報発信、リーフレット・ポスター・広報誌の作成等、様々な手法を用いて情報発信する。 観光事業者への営業やメディアへの情報提供、教育機関への営業等、積極的な営業・プロモーション活動を行う。
(10) 便益施設の設置管理との一体的な実施により、効用の発揮や利便性向上に相乗効果が期待できるか	<p>【設置する施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園の楽しみ方の幅を広げることを目的に、「カフェ」及びコミュニティスペース「公園の作戦会議室」を設置する。 <p>【一体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティスペース「公園の作戦会議室」を活用し、公園の活用等を議論する場、地域コミュニティ醸成の場、地域情報発信の場を提供する。 便益施設で運営するSNSで公園の様子を発信するなど、情報発信において連携を図る。 緊急時にはスタッフ同士が連携する。 災害時には便益施設を地域住民へ開放する。 	<p>【設置する施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本庭園の景観に調和する、「和モダンカフェ」を設置する。 <p>【一体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本庭園の雰囲気を重視したイベントを実施する。 便益施設において公園イベントを告知PRする。 公園利用者ニーズに柔軟に対応できるよう、提供メニューや座席数等サービス内容の改良に取り組む。 	<p>【設置する施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食を通じた新たな公園コミュニティスペースを提供する「カフェ兼BBQテラスレストラン」を設置する。 <p>【一体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園案内や近隣の観光案内リーフレット等を設置し、公園の案内機能を補完する。 一般公園利用者も利用可能なトイレを設置する。 庭園文化講座の開催、展示コーナー等を設置する。
2 事業計画の遂行能力			
(1) 経営状況及び財政基盤は安定しているか	<p>〔東武鉄道株〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 売上 2022年：204,585,845千円、2021年：188,851,472千円 営業利益 2022年：28,653,778千円、2021年：23,355,096千円 経常利益 2022年：24,562,906千円、2021年：19,701,703千円 流動比率 2022年：13.8%、2021年：13.4% 固定長期適合率 2022年：134.7%、2021年：131.4% 自己資本比率 2022年：24.0%、2021年：23.7% <p>〔東武緑地株〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 売上 2022年：8,200,223千円、2021年：7,336,472千円 営業利益 2022年：▲115,361千円、2021年：▲195,670千円 経常利益 2022年：▲83,842千円、2021年：▲49,897千円 流動比率 2022年：189.3%、2021年：153.0% 固定長期適合率 2022年：65.7%、2021年：71.0% 自己資本比率 2022年：36.2%、2021年：39.5% 	<ul style="list-style-type: none"> 売上 2022年：79,848,000千円、2021年：75,527,000千円 営業利益 2022年：3,461,000千円、2021年：3,067,000千円 経常利益 2022年：3,815,000千円、2021年：3,333,000千円 流動比率 2022年：189.4%、2021年：189.3% 固定長期適合率 2022年：39.0%、2021年：38.5% 自己資本比率 2022年：41.0%、2021年：44.1% 	<p>〔代表法人〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 売上 2022年：1,483,345千円、2021年：1,358,450千円 営業利益 2022年：809千円、2021年：▲62,046千円 経常利益 2022年：2,345千円、2021年：▲53,229千円 流動比率 2022年：161.85%、2021年：148.09% 固定長期適合率 2022年：34.25%、2021年：34.41% 自己資本比率 2022年：1.58%、2021年：▲8.55% <p>〔構成法人〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 売上 2022年：1,650,646千円、2021年：851,001千円 営業利益 2022年：34,255千円、2021年：▲165,775千円 経常利益 2022年：56,137千円、2021年：127,744千円 流動比率 2022年：233%、2021年：301% 固定長期適合率 2022年：78%、2021年：77% 自己資本比率 2022年：6.9%、2021年：5.5%

項目	すみだパークマネジメントグループ	B	C
	<p>[東武ビルマネジメント㈱]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上 2022年：22,883,095千円、2021年：20,636,433千円 ・営業利益 2022年：591,034千円、2021年：450,481千円 ・経常利益 2022年：670,871千円、2021年：673,025千円 ・流動比率 2022年：405.9%、2021年：415.1% ・固定長期適合率 2022年：20.8%、2021年：20.9% ・自己資本比率 2022年：71.1%、2021年：71.4% <p>[プロジェクトブレイン㈱]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上 2022年：182,944千円、2021年：186,160千円 ・営業利益 2022年：11,856千円、2021年：29,330千円 ・経常利益 2022年：27,472千円、2021年：32,738千円 ・流動比率 2022年：1,230.5%、2021年：1,443.1% ・固定長期適合率 2022年：51.4%、2021年：53.4% ・自己資本比率 2022年：86.9%、2021年：87.6% 		
(2) 職員構成・職員数及び組織の管理・運営体制は適切か	<ul style="list-style-type: none"> ・平日2名、土日祝日3名を基本配置する。 ・繁忙期は、補助職員を1名追加配置する。 ・本部に業務ごとの責任者を配置し、現場スタッフをサポートする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平日・土日祝日とも9～10名を配置する。 ・4つの業務チーム（利用サービス・事務チーム、利用促進チーム、維持管理チーム、収益業務チーム）を組成する。 ・繁忙期は、外部に警備業務を委託する。 ・本部が人事総務、経理、運営支援、関連団体調整支援等をサポートする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平日3名、土日祝日4名を配置する。 ・4つの部門（運営部門、管理部門、駐車場部門、飲食部門）を組成する。 ・繁忙期は、補助職員を4名程度追加配置し、警備員を1日当たり3～4名配置する。 ・代表法人に管理本部を設置し、専門職員が業務支援する。
(3) 管理責任者及び職員の資格や経験は適切であり、職員のスキルアップに向けた取組は十分か	<ul style="list-style-type: none"> ・管理事務所に常駐する統括責任者には、公園管理運営士等の資格保有者を配置する。 ・本部に樹木医等の専門職員を配置する。 ・OJT教育・業務マニュアルに基づいた指導を行う。 ・周辺エリアのコンシェルジュ機能を担うことを目的に、周辺施設の最新情報、公園の歴史・文化知識の習得に努める。 ・各種研修、防災訓練を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理事務所に常駐する統括責任者には、管理運営業務を統括できる人材を配置する。 ・各チームにマネージャー・リーダーを配置する。 ・OJTとOFF-JTを合わせた日常的な人材育成を行う。 ・各種研修、防災訓練を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理事務所に常駐する統括責任者、副統括責任者には公園管理運営経験者を配置する。 ・管理本部に公園管理運営士等の専門職員を配置する。 ・業務ローテーションによりマルチ職員を育成する。 ・各種研修、防災訓練を実施する。
(4) 個人情報保護の徹底及び積極的な情報公開を行う計画となっているか	<ul style="list-style-type: none"> ・代表企業の定める個人情報保護ポリシーを遵守する。 ・情報収集時の注意事項、保管・破棄方法を定め、管理する。 ・必要な規定を定め、情報公開へ対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーマークを取得している。 ・秘密漏洩、流出防止に向けた具体的な取組を実施する。（個人情報保護管理責任者の設置、情報機器管理台帳の作成、セキュリティ専門企業との提携等） ・必要な規定を定め、情報公開へ対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・秘密漏洩、流出防止に向けた具体的な取組を実施する。（情報公開規定の整備、運営体制の整備、専門会社によるPCセキュリティ体制の確立、個人情報保護研修等） ・管理本部が年に一度内部監査を実施する。 ・必要な規定を定め、情報公開へ対応する。
(5) 災害その他緊急時の危機管理体制及び苦情処理体制は明確か	<ul style="list-style-type: none"> ・未然防止と対処方法を定めたマニュアルを作成する。 ・危機管理体制、苦情要望対応体制を整備する。 ・管理事務所へAEDを設置する。 ・災害時における避難場所であることから地域住民の避難に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未然防止と対処方法を定めたマニュアルを作成する。 ・危機管理体制を整備する。 ・各種備品（簡易薬品、必要資機材）を常備する。 ・緊急連絡先や避難場所を明示したスタッフカードを携帯する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未然防止と対処方法を定めたマニュアルを作成する。 ・危機管理体制、苦情要望対応体制を整備する。 ・各種備品（救急セット、AED、担架、拡声器等）を常備する。 ・点検要所マップを作成し、事故等の未然防止を図る。
(6) 都市公園又は都市公園に類似する施設に関する他の自治体での管理運営実績	<p>【墨田区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>【他自治体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、元洲江公園・生物園（東京都足立区）等、4件の指定管理者 	<p>【墨田区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>【他自治体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、安満遺跡公園（大阪府高槻市）等、6件の指定管理者 ・現在、千葉市動物公園（千葉県千葉市）で設置管理許可による運営 	<p>【墨田区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>【他自治体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、千葉ポートパーク（千葉県千葉市）等、33件の指定管理者 ・現在、千葉公園等2件で公募設置管理制度（Park-PFI）の公募設置等予定者に選定